

今日の説教のポイント <ルカによる福音書 23 章 26～43 節>

キリスト教で一番大切な十字架の出来事。そこで注目すべきは、殺す人間と殺されるイエス・キリスト。今日はその後者に注目。

①ピラトに続いてキレネ人シモンの登場。それが意味することは？

イエス様の十字架を背負わされたシモン。彼はアレクサンドロとルフォスの父であった(マルコ 15:21)と記されていますから、この後、彼もその子たちもキリスト者となり、知られていたのでしょうか。先週のピラトに続いて個人名が出ていることは、イエス・キリストの出来事が実際の歴史の中で起こったことを示しているのです。迷惑を被ったはずのシモン。その彼がなぜイエス・キリストを信じる者になったのでしょうか？ それが次に考えねばならない問題です。

②自分を救えないイエス？ 否！ 自分を救わないイエス！

34 節には、「その時、イエスは言われた。『父よ、彼らをお赦し下さい。自分が何をしているのか知らないのです』」、とあります。自分を殺そうとしている人々のために祈られる！ まさに驚きです！ 人々から石を投げつけられて殺されたステパノが、死の直前にこれと同じ祈りをしたことを、同じルカが書いた使徒言行録 7 章 60 節に出て来ます。ルカも、ステパノも、そしてシモンも、この主イエスの姿と言葉に驚かされ、イエス様を信じる者になったのです！

何も分からない人間は、「他人を救おうとするが、自分も救えないイエス」と嘲ります。しかし、「他人を救うために、自分を救われなかったのだ」ということをこそ考えなければならないのです！ しかも、その他人とは、自分を嘲りまさに殺そうとしている他人です！ 何も分からない時、私たちも同様だったのではないのでしょうか？ 他人とは私たち自身なのです！ 「このイエス・キリストをお与えて下さった神様に注目せよ」、と聖書は私たちに語りかけているのです。

③二人の犯罪人。私たちはどちらを選ぶ？

死刑に際して捨て鉢になって主イエスを嘲った犯罪人。イエス様の言動を見、「このお方こそ、神様が与えて下さった救い主だ」と信じることを決断したもう一人の犯罪人。私たちはどちらを選ぶか？ 信仰とは、信じる内容をよく吟味し、そして確かだと確信したら信じる決断をなすこと。神様はそうすることを願われているのです！